

第七十五回 帝國議會 衆議院 鑛業法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第二回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六二號)

調查委員會ニ於テ十分ナ御審議ヲ經タ結果、商工大臣ニ對シテ、第三十三條ノ二ハ削除シテ、試掘權本來ノ立場ニ歸ツテ、試掘權ハ一定ノ期限デ打切ルノガ然ルベキデアル、斯ウ云フ趣旨ノ御答申ガアツタノデアリマス、ソコデ此ノ試掘權制度ヲ改メマニ依ツテ、鑛業ノ價值アリヤ否ヤ、即チ採掘權ヲ設定スル價值アリヤ否ヤヲ試ミルト云フノガ、權利ノ内容デアリマスノデ、此ノ鑛業法ノ建前カラ觀察致シマシテモ、試掘權ハ其ノ鑛區稅ガ安イトカ、或ハ其ノ權利ノ設定ニ付テ手續ガ簡易ニシテアルト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマス、其ノ代理擔保權ノ内容ニナラナイト云フヤウナ制限モアリマス、斯ウ云フヤウナ現行法ノ建前カラ致シマシテモ、試掘權ハ元々一定ノ期間内ニ試掘ヲ爲サシメルト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ鑛業法ガ明治三十八年ニ法律第四十五號トシテ公布セラレ、實施セラレタ當時ニ於キマシテハ、試掘權ハ明瞭ニ二年デ打切ラレタノデアリマス、其ノ後法律ノ改正ニ依リマシテ、第三十三條ノ二ガ加ツテ、二年間ノ期間ノ満了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付テ更ニ鑛業ノ出願ヲ爲ス時ハ、舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シテ優先權ヲ有スト即チ試掘權制度ニ付テ改正ヲ行フ趣旨ニ付テノ御質問デアリマスガ、是ハ試掘權其ノモノノ本質ニ顧ミマシテ、現在ノヤウナ制度デ置クコトハ、試掘權カラ大分離レタ内容ニナリ、又離レタ取扱ニナツテ居ル、斯ウ云フ實情ヲ矯正スル意味デアリマス、御承知ノ通リ試掘權ハ、本來ノ鑛業權デアル所ノ採掘權ヲ設定スル爲ノ準備行為ヲ内容トスル權利デアリマス、隨ヒマシテ此ノ試

ノ改正法律案ニ於キマシテモ、鑛業法改正

昭和十五年二月二十七日(火曜日)午後一時
二十分钟開議
出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君
理事澤田 利吉君 理事中井川 浩君
理事松尾 三藏君 理事篠原 善政君
理事小山田義孝君 理事川俣 清音君
山本 厚三君 手代木隆吉君
岡野 龍一君 正剛君
小柳 牧衛君 森下 國雄君
四田 銳吉君 井阪 豊光君
木暮武太夫君 鶴 物市君
原口初太郎君 東條 貞君
依光 好秋君 松本治一郎君
長谷 長次君 坂本宗太郎君
岩瀬 亮君

二月二十六日委員松尾孝之君辭任ニ付其ノ補闕トシテ森田福市君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

商工參與官 喜多壯一郎君
商工省鑛產局長 小金 義照君
商工書記官 山本 茂君
商工書記官 椎名悅三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)
砂礫法中改正法律案(政府提出)
砂礫法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、直ニ質疑ニ入リマス、質疑ハ通告順ヲ以テ之ヲ許シマス——山本厚三君
○山本委員 私ハ茲ニ提案サレタ鑛業法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第二回

改正法律案ニ付キマシテ質疑致シタイコトガ各方面ニ付テアリマスガ、主トシテ第三十三條ノ二ヲ削除スルコト、即チ多年行ハレテ來タ試掘權優先權廢止ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ本會議ニ於テ大體ノ御説明ガアリ、又質問應答ガ相當詳細ニ行ハレテ居リマスカラ、大體政府ノ意ノアル所ハ示サレテ居ルノデアリマスガ、ドウモ當時ノ政府委員ノ御答辯ガ、極ク單調ナ皮相ノ御答辯デアリマシテ、ドウシテモ了解スルコトガ出來ナカツタノデアリマスカラ、尙ホ突キ進シシテ御尋ヲ致スノデアリマス、其ノ第一ニ伺ヒタイトコトハ、改正案中ノ最モ主ナルモノト思ハレル此ノ試掘制度ノ改正ノ本當ノ御趣意ハ何處ニアルノカ、何ガ目的デ改正ヲナサレタノカ、之ヲ端的ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○喜多政府委員 他ノ政府委員カラ答辯致シマス

○小金政府委員 鑛業法第三十三條ノ二ヲ削除、即チ試掘權ガ滿了シタ後十日以内ニ出願ヲスレバ其ノ人ニ優先權ヲ認メルト云フ、此ノ趣旨ノ條文ヲ削除致シマシタ趣旨、即チ試掘權制度ニ付テ改正ヲ行フ趣旨ニ付テノ御質問デアリマスガ、是ハ試掘權其ノモノノ本質ニ顧ミマシテ、現在ノヤウナ制度ニナリ、又離レタ取扱ニナツテ居ル、斯ウ云フ實情ヲ矯正スル意味デアリマス、御承知ノ通リ試掘權ハ、本來ノ鑛業權デアル所ノ採掘權ヲ設定スル爲ノ準備行為ヲ内容トスル權利デアリマス、隨ヒマシテ此ノ試

掘權制度ヲ認メテ居ル如何ナル立法ニ付テ見マシテモ、大體ニ於テ一年トカ二年ト云フヤウニ期間ガ限定サレテ居リマス、試掘權ニ依ツテ、鑛業ノ價值アリヤ否ヤ、即チ採掘權ヲ設定スル價值アリヤ否ヤヲ試ミルト云フノガ、權利ノ内容デアリマスノデ、此ノ鑛業法ノ建前カラ觀察致シマシテモ、試掘權ハ其ノ鑛區稅ガ安イトカ、或ハ其ノ權利ノ設定ニ付テ手續ガ簡易ニシテアルト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマス、其ノ代理擔保權ノ内容ニナラナイト云フヤウナ制限モアリマス、斯ウ云フヤウナ現行法ノ建前カラ致シマシテモ、試掘權ハ元々一定ノ期間内ニ試掘ヲ爲サシメルト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ鑛業法ガ明治三十八年ニ法律第四十五號トシテ公布セラレ、實施セラレタ當時ニ於キマシテハ、試掘權ハ明瞭ニ二年デ打切ラレタノデアリマス、其ノ後法律ノ改正ニ依リマシテ、第三十三條ノ二ガ加ツテ、二年間ノ期間ノ満了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付テ更ニ鑛業ノ出願ヲ爲ス時ハ、舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シテ優先權ヲ有スト云フ風ニ、第三十三條本來ノ先願主義ニ重大ナル變革ヲ加ヘマシテ、試掘權保護ノ立場カラ、相當行キ過ギタト言ハレルヤウナ現象ガ、此ノ爲ニ隨分現ハレテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ現狀ニアリマスノデ、此ノ第三十三條ノ二ヲ取扱ニ付キマシテ別ニ變ツタコトハアリマセヌガ、唯一ツ鑛業法改正調査委員會ニ付議シタ所ガ、斯ウ

云フ答申ガアツタ云フコトデアリマス、ソレハドウ云フ人物ガ其ノ委員ニナラレタ

ノカ分リマセスカラ批判ハ出來ヌガ、ソレハトドウモ官廳トシテハ順序ヲオ履ミニナツタト云フダケデ、實際ノ事情ト合ハナイ御人ノ意見ヲ申上ゲルノデナク、非常ニ世間ニ反対ガアル、表面ノ理由ハ、本制度本來ノ趣旨ニ戾スノデアルト云フコトデ、是ハ御尤モデアリマス、其ノ點ハ能ク分リマスガ、同時ニ時局ニ直面シテ増産獎勵ノ目的ニアリ、又一方礦業獎勵ノ目的ニアリ、生産擴充促進ノ目的デアル、斯ウ云フ風ニモ併セテ御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、此ノ點モ伺ヒマス。

○小金政府委員 此ノ改正ノ結果、鑛物ノ生産擴充ノ促進ニモ資スル所ガ相當アルト試掘權制度ノ改正ノミニ依ツテ增産ヲ期待スルモノデハアリマセヌガ、サウ云フ趣旨云フ風ニ考ヘテ居リマス、但シソレハ此ノ試掘權制度ノ改正ニ依ツテドウシテ達ラレルカ、二箇年ノモノヲ四箇年ニ殖ヤモ考ヘテ居リマス。

○山本委員 趣旨モ考ヘテ、居ルト仰シヤルガ、増産ノ目的ガ改正ニ依ツテドウシテ達ラレルカ、二箇年ノモノヲ四箇年ニ殖ヤシテ、四箇年内ニ必ズヤラナケレバナラヌト云フガ、先願權デ争ツテ賣賃シテ居ルノガ多イノデアリマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、アノ高イ稅金ヲ拂ツテ試掘權ヲ獲得シタ者ガ、唯權利ノ上ニ眠ツテ、採掘ヲシナイト云フコトハ、或ハアルカモ知レマセヌガ先ヅ少イ、平素デアリマスルト、ドウモ色々ナ關係デ採掘スルコトガ出來ヌモノカラ、引合ハスカラヌノデアリマスガ、今日デアリマスト、相當ノ準備ガ整ヘバ採掘ヲスル方ガ非常ニ儲カルノデアリマス、儲カラス山ハ別デアリマスガ、儲カル山ガ澤山アルニ拘ラズ採掘シナイ、是ハ唯

宜シイノカ、ソレニ非常ナ難點ガアルヤウニ

私共ハ考ヘテ居リマス、實ハ鑛山ヲ本格的ノ爲ニ効イテ居ルノデアリマスカラ、其ノ利益ガアルノニ躊躇シテ遲々トシテ居ルト云フコトハ無イ筈デアリマス、ソレデアリマスカラ、之ヲ御改正ニナツタカラ、急ニ利權ガナクナルカラ大騒ギラシテ採掘ヲスル、今マデハ權利ガ繼續出來ルカラ儲カルコトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテ安閑トシテ居ツタノダ、斯ウ云フ風ニ御覽ニナルト、サウ云フ議論ニナルト思ヒマス、事實ハ吾々以上ニ御調ニナツテ居リマセウガ、實際ニ於テ出來ルモノナラヤリタイ、ソレガ出來ナイカラヤラナイト云フノガ實情ノヤウニ私ハ思ヒマスガ、實際今日ノ我國ノ各方面ニ鑛業ガ採掘手續ヲシナイデ放ツテ置クノガ多イカラ、斯ウ云フコトヲオヤリニナルト云フ御考デアリマスルカ、其ノ邊ハドウ云フ御考デアリマスカラ

○小金政府委員 鑛山ノ採掘ニ付キマシテ、現在採掘ヲシテ鑛物ヲ出セバ儲カルカラ誰シモヤリタイ、斯ウ云フ風ナ部分モ相當アルト思ヒマス、併シナガラ今日試掘權ヲ設定シテ居ツテ鑛山ノ採掘ヲシナイ所ノ相當大キナ原因トシテハ、儲カル儲カラヌト云フヨリモ、計畫ガ立タナイト云フコトガ非常ニ大キイヤウニ私共ハ見テ居リマス、ソレハ試掘權ノ願出ノ數ト採掘權ノ願出ノ數トガ餘リニ開キガ大キ過ル、其ノ採掘ヲ爲サナ理由ハ、人ノ不足トカ資材ノ不足トカ云シテ、アノ高イ稅金ヲ拂ツテ試掘權ヲ獲得シタ者ガ、唯權利ノ上ニ眠ツテ、採掘ヲシナイト云フコトハ、或ハアルカモ知レマセヌガ先ヅ少イ、平素デアリマスルト、ドウモ色々ナ關係デ採掘スルコトガ出來ヌモノカラ、引合ハスカラヌノデアリマスガ、今日デアリマスト、相當ノ準備ガ整ヘバ採掘ヲスル方ガ非常ニ儲カルノデアリマス、儲カラス山ハ別デアリマスガ、儲カル

山ガ澤山アルニ拘ラズ採掘シナイ、是ハ唯

眠ツテ居ツテシナイノミデナク、元來利益ノ爲ニ効イテ居ルノデアリマスカラ、其ノ利益ガアルノニ躊躇シテ遲々トシテ居ルト云フコトハ無イ筈デアリマス、ソレデアリマスカラ、之ヲ御改正ニナツタカラ、急ニ利權ガナクナルカラ大騒ギラシテ採掘ヲスル、今マデハ權利ガ繼續出來ルカラ儲カルコトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテ安閑トシテ居ツタノダ、斯ウ云フ風ニ御覽ニナルト、サウ云フ議論ニナルト思ヒマス、事實ハ吾々以上ニ御調ニナツテ居リマセウガ、實際ニ於テ出來ルモノナラヤリタイ、ソレガ出來ナイカラヤラナイト云フノガ實情ノヤウニ私ハ思ヒマスガ、實際今日ノ我國ノ各方面ニ鑛業ガ採掘手續ヲシナイデ放ツテ置クノガ多イカラ、斯ウ云フコトヲオヤリニナルト云フ御考デアリマスルカ、其ノ邊ハドウ云フ御考デアリマスカラ

○小金政府委員 鑛山ノ採掘ニ付キマシテ、現在採掘ヲシテ鑛物ヲ出セバ儲カルカラ誰シモヤリタイ、斯ウ云フ風ナ部分モ相當アルト思ヒマス、併シナガラ今日試掘權ヲ設定シテ居ツテ鑛山ノ採掘ヲシナイ所ノ相當大キナ原因トシテハ、儲カル儲カラヌト云フヨリモ、計畫ガ立タナイト云フコトガ非

常ニ大キイヤウニ私共ハ見テ居リマス、ソレハ試掘權ノ願出ノ數ト採掘權ノ願出ノ數トガ餘リニ開キガ大キ過ル、其ノ採掘ヲ爲サナ理由ハ、人ノ不足トカ資材ノ不足トカ云シテ、アノ高イ稅金ヲ拂ツテ試掘權ヲ完全ニヤルコトハ事實甚ダ至難デアル、是ハ大キナ資產家バカリニヤラセレバヤリマス、併シ是ハ御承知ノ通り斯ウ云フ者コソ有望ナ鑛區ハ皆買收シテシマツテ、二十年モ三十年モ四十年モ持ツテ來タノデス、政府ニ於テ之ヲ御改正ニナラナクテモ、十分地質調査ナリ何ナリ大變ナ設備ヲ御持チニナツテ居ルカラオヤリニナツテ、宜シイト云フ所ハ採掘ヲ御命ジニナレバ、採掘權ノ出願ヲサセ

得ルノデアリマスカラ、今別ニ試掘權ノ期限ヲ縮メナクテモ、今マデノヤウナノンベ

シテモ、早ク採掘シタラドウダ、斯ウ云フ風ニ採掘ヲ促進スルヤウナ方針ヲ御執リナ

リマス、此ノ不平ハ非常ニアルノデアリマス、ソレヲ或ル程度オヤリニナレバ、民

衆ニ、今日ノヤウナ何層倍ニナツテ居ル所デハ完全ニハ出來マスマイガ、事實ハサウデ

モ、指導シ手引ヲスル點ガ行届カヌ所ガアケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノコトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ立場カラモ、之ニ依ツテ試

掘ガ促進サレルナラバ、非常ニ鑛山開發上

ノデアリマス、ソレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレドスレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ニ開發シナイ理由トシテハ色々舉ガラレテ居リマス、又私共モ其ノ個々ノ山ニ付テ考

シダラリニシテ置イテモ、良イ者ハ出來

出来ハシナイ、吾々民間ノサウ云フ方ノ話

バカリヲ聞イテ居ル者カラ感ジヲ申上ダ

ル、又之ヲオヤリニナツタ所デ微力ナ者ハ

スレバ、實際ハ手モ足ラヌデセウケレド

ケレドモ、吾々ガ一番遺憾ニ思ツテ居リマス、ソコデ成ベク早ク試掘ヲシテ鑛物ノ

コトモヤラナイデ、戰爭ノ濟ムマデ待ツテスコトハ、試掘ヲ十分ヤラナイ、即チ採鑛

存在茲ニ其ノ保存狀態、鑛量等ヲ大體ノ見當ヲ付ケテ、日本國家全體トシテ計畫性アル

鑛山ノ開發ヲ爲シテ行

ヌ、此ノ點ハ事理ヲ明ニシナケレバナリマ
セヌガ、是ガ非常ニ行届イテ居ラヌト思
フ、經費ガ要ルモノナラバモツト御要求ニ
ナツタラドウカ、前議會デ御要求ニナツタ
アンナ金額デトテモ調査ガ出來ルモノデハ
アリマセヌ、今日千方ヤ五百万位ノモノハ
紙屑ノヤウナ世ノ中デアルカラ——是ハ餘
談デハアルガ、私ハ豫算總會デモ石油問題
デ大臣ニ、紙ヲ發行スルノデアルカラ一年
ニ六百三十万位デナク、其ノ十倍ノ六千万
圓位ノ金ヲ出シテ石油ノ採掘ヲオヤリニナ
レバ、何處カニ當ルダラウト云フコトヲ相
當ナ人ガ言ツテ居ルガト云フコトヲ申上ゲ
タ、一般鑛物ノ採掘ニ付テモモウ少シヤレ
バ促進スルト思フ、ソレヲ此ノ儘ニシテ御
置キニナツテ、虎ノ子ノヤウニシテ居ル試
掘權ヲ四年デ打切ツテシマフト云フコト
ハ、ドウモソコニ翻齧シタ點ガアリハシナ
イカト思フ、ソレカラ先日ノ政務次官ノ御
答辯、即チアナタ方ノ方ノ御答辯ニ依ルト、
此ノ改正案ハ眠ツテ居ル者ニハ少シ困ルカ
モ知レスケレドモ、本當ニ採掘、採鑛ヲ爲
ス者ニハ差支ナイ話デアル、斯ウ仰シヤツ
タノデアルガ、本當ニ採掘ヲスル者デモ、
是ハ中々困ル問題ナノデス、本當ニ採掘ヲ
スル者ト云フノハドフ云フモノヲ御覽ニナ
ルカモ知レマセスケレドモ、サウ云フ者ヘナ
イノデス、初メハ變ナ權利ノヤウナ先願權ヲ
買ツテ、自分で金ヲ掛ケテ實ハ試掘ミタイナ
ト云フコトデ採掘權ヲ得ル——サウデナク
山師的ニヤル人モ澤山アリマスケレドモ、
本當ニ採掘ヲシテ採掘ニ掛ルト云フノデア

リマシテ、初メカラ採掘フヤツテ見ヨウト
云フノハ餘程限ラレタ僅カナモノデアリマ
ス、サウ云フ者ニハ迷惑ハナイカモノ知レナ
イガ、大體鑛山ノ發見ト云フコトヲ餘程御
獎勵ニナラヌト增産ナドハ出來マセヌ、鑛
山發見ノコトナドハ無論御承知デアリマセ
ウガ、大體ニ於テ生命懸ケデス、殊ニ樺太、
北海道邊リデハ熊ノ害ガアリ、雪害モアリ、
南方ヘ行ケバ毒蛇ノ害ト云フヤウナ非常ナ危
險ヲ冒シテ、何ノ爲ニサウ云フコトヲスル
ノカト言ヘバ、小サキハ一万、大キイノハ
五十万、百万ヲ夢見テ居ルノデアツテ、國
家ノ爲ニヤツテ居ル人ハ少イ、所謂一攫千
金ノ爲ニヤツテ居ル、危險ヲ冒シテ居ル、
サウ云フモノガ集ツテ石コロヲ持ツテ來タ
モノヲ都會地ニ住ンデ居ル山師ガ見テ、ソ
レ資本家ヘ持ツテ行ツテ賣付ケルト云フ
順序ハ御承知ノ通リデアル、所ガ斯ウ云フ
批評ヲスレバ少シ面白クナイ山師ノヤウナ
人、所謂買物屋ト言ハレテ居ル人ガ皆鑛
石ヲ發見シテ居ルノデアツテ、商工省御自
身デ御發見ニナツタモノハ主ナ所ダケデア
ル、或ル地方ニ於テハ水銀、「ニッケル」ハ絶
對ニナイ、「クローム」ナドハ幾ラ骨ヲ折ツ
テモ、北海道デ一番大キヤツテ居ル者デ
モ、命懸ケデヤツテ居ツタノガ戰爭デ漸ク
芽ヲ吹イタ位ノモノデ、其ノ間ノ苦心ハ非
常ナモノデアル、何デモ、試掘權ヲ握ツテ
眠ツテ居ルモノハイケナイト言ヒ、表面ハ
睡眠鑛山ヲ征伐スルノデハナイト言フケレ
ドモ、事實ハサウナル、私共ノ見ル所デハ
石炭ノ新礦區ヲ發見スルノハ、政府ノ力デ
シダ者モ相當アル、其ノ結果ガ今日ノ時勢

ニ打突カツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ苦勞ヲ認メテ、試掘權モサウ一概ニ法律デ御取締ニナルノハドウカト思フ、此ノ點ハモウ御認ニナツテ居ルト思ヒマスカラ、御返事ハ求メマセヌ
ソコデ試掘權者ガ採掘ニ至ラザル、若クハ採掘ガ遲延スル理由ヲ申述べテ御考ヲ伺ヒタイト思フ、私ノ見ル所デハ、色々アリマスガ、其ノ一ハ調査ガ中々進行致サナイコトデアル、ソレハ簡単ニ仰シヤルガ、事實ヤツテ御覽ニナルト分ル、此ノ位困難ナモノハ殆ドアリマセヌ、第一道路モ何モナイ深山幽谷デアルカラ、是カラシテ、第一至難デアル、探鑽シロ、探鑽シロト仰シヤツタ所デ石炭ノ露頭ミタイナ所ハ簡単デアルガ、「ボーリング」ナドハ絶對ニ個人デ出來ルモノデハアリマセヌ、今ハ出來ルガ、平素ハ出来マセヌ、政府ノ御助ケモ前申通りデ、思フヤウニハヤツテ下サラス、是等ノ爲ニ採掘計畫ハ容易ニ立ツモノデハナイ、是ガ一番根本ノ遲延スル理由デアラウト思ヒマス、其ノ第二ハ交通ノ關係デアリマス、四年間ト仰シヤルケレドモ、今マデ僅カノ粗末ナ道路シカナイ所ニ今度道ガ出來、ソレガ県道ニナリ「トラック」ガ通り、ソレデ漸ク何トカナルノデスガ、ソレダケデハ運搬スルコトハ出來ヌカラ、ドウシテモ汽車ガ必要デアリマス、所ガ汽車ノ出來ヌノニ採掘ニ掛ツタ所デ何モ出來マセヌ、小鑽業家ノリマセヌ、所ガ今ハナイケレドモ一年經テバ、或ハ二年、或ハ四年經テ、必ズ鐵道ガ附近マデ來ル、其處マデ「トラック」道路ヲ作ルト云フ計畫ニナツテ居ルモノヲ、ソレガ

ナ内ニ採掘ニ掛ツタ所デ採算ハ合ハナイカラヤル人ハアリマセヌ、此ノ交通ノ便ガ今ハナイガ、近イ將來出來ルカラト云フノデ見送ツテ居ルノデアツテ、唯眠ツテ居ルノデハナイ、サウ云フ人モ澤山アリマス、第三ニハ鑛物ノ需給關係ヲ御考ニナラナケレバ駄目デス、今日日本各地デ實ニ驚クベキ程ノ鑛石ガ各所ニ發見サレテ居ルガ、是ハ殆ド滿洲事變以來少シ色ガ付イテ來タ、此ノ支那事變ガナカツタラ、鑛山バカリカ、石炭ニシタ所デ、ツイ此ノ支那事變前マデハ、死ンダ磯村君ノ如キハ、年中石炭ノ運賃ヲ低減シロト云フ議論ヲ社會デモ議會デモヤツテ居ツタガ、ソレデナケレバ立行カヌト云フノデ、炭鑛會社ハ丸濱レノヤウナ恰好デアツタ、ソレガ今度斯ウ云フヤウニナツテ利益ヲ匿スノニ困ツテ居リマス、是ハ何カラ來タカト云フト、需給關係カラデアル、アア云フ日本一、世界一ト云フヤウナ炭鑛デモサウデアルカラ、普通ノ中以下ノ微力ナル鑛業者ニ至ツテハ、需給關係ガナカツタラヤル人ハアリマセヌ、ソレデハサウ云フモノガドンヽ、權利ヲ取ツテ何處ニ移ルカト云フト、抽籤デヤルト云フ御話デアルガ、何處へ行クカ分ラヌ、今マデサンザン苦勞シテ持ツテ居ツタガ、需給關係デヤラズニ居ツタモノヲ取上ゲテ、ソレヲ何モ關係ノナイ者ヘヤツテシマヒ、新シクナルト、需給關係デナケレバ採掘ガ出來ナ、幾ラ御獎勵ニナツテモ――又御獎勵モ其ノ時ハシナカツタ、第四ノ關係ハ資金デアリマス、資金ガ一万二万ノモノナラ

中々出來マセヌ、相當ノ設備ガ出來、炭坑ガ出來テ信用ガ付カナイト、銀行デモ金ハ貸サナイ、此ノ資金關係ヲヤツテ居ル内ニモ二年ヤ三年ハ經ツ、資金ナシニ採掘ニハ絶對ニ掛レマセヌ、道路モ付ケナレバナラヌ、ドンナ小サイ山デモ今日四五十万ノ金ハ出サナケレバナリマセヌ、此メ爲ニ遅レテ三年モ經ツテシマフト、其ノ時分ニ資金ハ出來掛ツタガ、モウ仕方ガナイ、斯ウ云フコトガアツテ不幸ヲ見ルコトガ非常ニ多いノデス、第五ニハ官廳ノ手續遷延ノ爲ニ遷延スル、是ハ先程申シマンシタ通り非常ニ多イノデス、之ニ付テハオ氣付デアリマセウガ、各地方ノ監督局長ノ交迭ノ頻繁タルヤ實ニ甚シイノデス、局長ノ方ハ行政官デスカラ宜イトシテ、部長ト云フカ、技術家ノ交迭ガ頻繁ナノニハ地方デ弱ツテ居ル、方々御巡視下サツテ、其ノ地方ノ事ガデニナレバ結構デスガ、サウデナイ、サウシテ違フ人ガ來ルト又方々ヲ巡ツテ貰ハヌト呑込ミガ付カヌ、其ノ内ニ今度ハ局長ガ迭ツテ來ルト云フヤウニナルモノデスカラ、小サナ者ハ弱ツテ居リマス、大キナ者ハ手蔓ガアリマスカラ弱リマセヌ、是モ試掘ニ至ラザル一ツノ大キナ理由デアリマス、第六ハ、是ハモウ私共餘り感服シナイモノデナイ者、若クハ意思ノナイ者デアリマスガ、アリマス、即チ單ナル權利デ賣却シテ利益ヲ得ヨウト云フノデス、即チ採掘ノ資格ノタ金ガゼロニナルカラ氣ノ毒デアルケレド

モ、是ハ少シク感服シナイ點モアリマス、是トテモ試掘權ハ擔保ニ出來マセヌガ、事實ハ取ツテ居ル、又見返リトシテ隨分借金ヲシテ探鑛シテ來タ者ガ、四年間ニ間ニ合ナイデ只テ政府ニ取ラレテシマツタラドウスルカ、是ハ非常ナ迷惑ヲ受ケテ破産シナケソバナラヌ、併シ同情スルト云フダケデ理窟ハ少イノデアリマス、マダアリマスガ、主ナル點ヲ申上ゲマスト、唯採掘ヲシナイデ眠ツテ居ツタトハ言ヘナイ者モアリマス、是等ノ點ニ付テ御異存ガアリマセウカ、御考ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○小金政府委員 試掘權ヲ採掘權ニ變ヘルト云フ其ノ手續ニ色々ナ遲延ガアルコトニ付キマシテ御指摘ニナリマシタ點ハ、十分吾々モ注意シナケレバナラスト存ジマス、唯茲ニ根本的ノ問題ハ、此ノ法律ノ改正試掘權ノ内容デアル所ノ調査ヲ出來ルダケ早くヤツテ貴ヒタイ、サウシテ採掘ニ適スルモノデアルナラバソコニ採掘權ヲ設定スル、即チ採掘權ト云フ権利設定ノ手續ヲ早メルト云フノデアリマシテ、採掘ノ著手ヲ此ノ法律ニ依ツテ早メサセルト云フ意思ハ毛頭ナイノデアリマス、先程申上ゲマシタ通りニ現在ノヤウナ試掘權制度ノ儘デハ、日限ガ來レバ又繼足シヲシテ何年デモ手ヲ著ケズニ濟ミマス、ソレハ鑛業法第四十條ニ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登録ノ日ヨリテ取消シカラドウカト云フヤウナ御意見モ一箇年以内ニ事業ニ著手セス」云々、此ノ場合ニハ「主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト云フ規定ガアリマス、之ヲ適用シテ取消シカラドウカト云フヤウナ御意見モ行政處分ニ依ツテヤルノデアリマスカラ、如何ナル理由ガ正當ノ理由デアルカ、如何

ナル理由ガ正當ノ理由デナイカト云フコトヲ先づ判定シテ掛ル必要ガアルノデアリマス、ソレデ行政官廳ニ此ノ認定ヲ在セテ、権利ノ消長ヲ其ノ判断ニ依ツテ爲サシメルト云フコトハ、假令行政訴訟トカ訴願ト云フ救濟ノ規定ガアツタシテモ非常ナ煩難ヲ來シマスノデ、其ノ點ハ權利ノ死滅、或ハ取消シテシマフト云フヤウナコトニ關係ナク、成ベク採掘權ヲ設定セシメテ行ク、即チ試掘權ノ内容デアル試掘探鑛ヲ早キヤツテ貰フ、斯ウ云フコトヲ企圖シテ居ルノデアリマス、又交通ノ點ニ付テ御指摘ガアリマシタガ、沟ニ御尤モデアリシテ、北海道トカ、東北トカ、兎ニ角鑛物ノ相當埋藏サレ居ルニヤウナ所ハ、得テ山ノ中ガ多イノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ沟ニ御尤モデアリシテ、單ニ睡眠ノ爲ノ睡眠デハナクシテ、眞ニ已ムベカラザル理由ガアツテ著手ガ出来ナイノダト云フヤウナコトハ御尤モデアリマス、是等ノ點ニ付テモ相當考慮ヲ加ヘマシテ、例ハ東北、北海道方面ニ於テ雪ノアル間ハ山ノ試掘乃至探鑛ガ出來ナイト云フヤウナコトヲ考慮シテ、年限モ前ノ法律ノ二年ヲ更ニ倍加シテ四年ト云フ風ニ致シタノデアリマス、第三ノ鑛物ノ需給關係ヲ見テ能ク考ヘタカト云フ御質問、是モ沟ニ御尤モデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ御指摘ニナリマシタヤウニ過去ニ於テハ餘リニ放任ト云ヒマスカ、自由ニ放ツカラカシテ置スガ、鑛山ノ償却ニ付テハ大藏省在來ノ考ヘ方ヲ打破シテ貰ツテ、相當ノ便宜ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、其ノ他マダ色々ナ方法ヲ

講ジナケレバナラヌト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テハ洵ニ鑛物ノ需給關係カラ見タ將來ヲ御示唆ニナリマシタノデ、更ニ能ク考ヘタイト存ジマス、第四ニ資金ノ關係ヲ御指摘ニナリマシタ資金ガ、中々得ラレナイ、又資金ヲ掛けテモ思フヤウニ行カナカツタ場合等ヲ考ヘテ、中々資金ノ調達ガ出來ナイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是モ採掘權ノ設定トハ別ノ問題デアリマス、其ノ採掘權ヲ如何ニ働カシテ採掘ニ著手スルカト云フ場合ノ問題デアリマシテ、採掘權ノ設定ト云フ手續ト此ノ資金トハ關係ガナシイノデアリマス、寧ロ採掘ニ適スルコトガ採掘權設定ニ依ツテ明ニナレバ、次ノ計畫或ハ資金ノ調達等ニ便利ニナルノデハナイカ、サウ云フ意味デ試掘權ノ方ハ四年デ打切ツテモ差支ナイ、斯ウ云フ趣旨ニ吾々ハ解シテ居リマス、第五ニ官廳側ノ手續ガ非常ニ遅イト云フ點モ御指摘ニナリマシタ、其ノ原因ノ一ツトシテ官吏ノ更迭ガ頻繁過ギルト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、是等八十分上局ニ御傳ヘシテ、以テ御参考ニ致シタイト存ジマス、又第六ニ權利ダケト賣シテ業ト爲シテ居ルヤウナ者ハ、是ハマア已ムヲ得スカモ知ラヌガ、氣ノ毒ダト云フヤウナ御説モアリマシタ、吾々モ之ヲ必ズシモ一概ニ排斥スル意思ハ持タナイノデアリマシテ、權利ノ轉賣ニ依リマシテ非常ナ良イ開發者ニ其ノ鑛區ヲ持ツテ行クト云フヤウナコトガアリマスノデ、是亦相當ナ存在理由ノアルコトト存ジマス、ソコデ私等モ四年間デ取上げテシマフト云フヤウナ積リデ此ノ改正ヲ致シタノデハナイノデアリマス、山本サンノ御説ノ中ニチラノク御指摘ニナリマシタガ、鑛山開發ノ指導上

マダ不足シテ居ル點ガアルデハナイカト云
フヤウナ點ヲ考慮致シマシテ、更ニ鑛山開
發ノ指導ニ遺憾ナキヲ期スル、或ハ又昭和
十五年度ノ豫算ニ計上サレテ居リマスガ、
ソレカラ又、鑛山ニ付テ從來餘リニ政府ガ無
關心デアツテ、鑛物ノ需給關係ダケニ山ノ
金振興株式會社、ソレカラ又帝國鑛業開發
株式會社ト云フヤウナ特殊會社ヲ設立致シ
後相當改善セラレナケレバナラスト私共考
ヘテ居リマス、其ノ一端トシテ先般日本產
金振興株式會社、ソレカラ又帝國鑛業開發
株式會社ト云フヤウナ特殊會社ヲ設立致シ
タノデアリマシテ、只今官廳側テ不足シテ
居ル所ノ指導上ノ色々ナ御世話、ソレカラ
又期限ガ終リサウデアルガ此ノ試掘ヲドウ
シタラ宜イカト云フヤウナ相談ノ持込場所
モ、單ナル鑛山監督局ヨリモ實行力ヲ持ツ
タ帝國鑛業開發株式會社トカ、日本產金振
興株式會社等ニ持込スルヤウニ致シタイト
存ジマス、必要ガアレバ是等ノ特殊會社デ
ヤル所ノ國家的施設ノ擴充、乃至ハ其ノ活
動ノ活潑ニナルヤウナ施設ヲモ併セテ考へ
テ行キタイト存ジマス

○山本委員 只今採掘權ノ設定ハ資金トハ
關係ガナイトカ、確實ニナツテ宜イト云フ
ヤウナ御話デアリマシタガ、ソレハ併シソレ
ノ言ヒ方ガドウモ惡カツタノカ、問題ガ喰
違ツテ居ルヤウデアリマス、試掘權ノ方デ
探鑛ヲ十分ニシテ行ツテ、是ハ宜シト云
フコトニナラナケレバ、從來採掘權ハ出願
シナカツタノデアリマス、ソレハ五十箇所
モ百箇所モ鑛區ヲ持ツテ居リマスヤウナ三
井アタリデハ、稅金モ莫大ナモノニナツテ
居リマスガ、サウ云フコトニハ先生方ハ驚

カヌ、併シ唯一鑛區ダケ持ツテ居ツテモ試
掘權ノ稅金ニハ非常ニ困ツテ居ル者ガアル、
ヤウナコトヲ併セテ實行致スノデアリマス、
ソレカラ又、鑛山ニ付テ從來餘リニ政府ガ無
關心デアツテ、鑛物ノ需給關係ダケニ山ノ
金振興株式會社、ソレカラ又帝國鑛業開發
株式會社ト云フヤウナモノデアリマスケレバ
モ、平素デアツタナラバ非常ナ苦ミデス、
今デコソ百万圓ノ炭山ガ半年經タス中ニ九
百四十萬圓デ賣レルヤウナ世ノ中デアリマ
スカラ、稅金ナドハ冗談ノヤウナモノデア
リマスケレドモ、今カラ十年二十年三十年
前ヲ御考ニナレバ——アナタ方ハ大學生ニ
モナラヌ時代デセウガ、御調ニナレバ分ル
デセウ、吾々ハ始終聞イテ居ルガ、此ノ爲
ニ財產ヲ倒産シタ者ガドノ位アルカ分リマ
セヌ、是ハ稅金ノ爲デアル、其ノ位是ハ僅
カニ見エテ居ルケレドモ、大キナ負擔デア
ル、其ノ他ニ探鑛費用ガ要ルカラドノ位苦
シンデ居ルカ分ラヌ、ソコニ持ツテ行ツテ、
マダ本當ニ決心モ付カヌ者ニ持ツテ行ツ
テ、年限ガ盡キタカラト云ツテ採掘權ノ設
定ヲシマスト、稅金ハ倍取ラレルダケデ他
ニ變リハナイ、ソレカラ又採掘權ヲ設定ス
レバ金ヲ貸ス人ガ樂ニ出來ルト仰シヤル
ガ、是ハ內容ニ依ルノデアツテ、政府ノ御
方針次第デアル、試掘權ヲ許スコトガ果シ
テ正當ニ許シテ居ルナラバソレハ宜イガ、
ソレハ金融業者デハ分リマセヌ、併シソレ
ハマア工合好クナルト思ヒマス、モウ一ツ
ハマア工合好クナルト思ヒマス、モウ一ツ
ノ状況ガ分ラナイノデアリマシテ、試掘權
ノ状況ガ分ジマスルガ、ソレハ兩方相俟ツテ
改善シテ行カナケレバナラヌ、日本ノ鑛山
ノ方モ成ベク早ク調査ヲシテ採掘ニ轉顧ス
ル、鑛山監督局ノ方モ、サウ云フ出願ガアレ
バ出來ルダケ早イ實地調査ヲシテ試掘權ヲ
設定スル價值アリヤ否ヤヲ確カメル、斯ウ
云フ風ニ致シタイノデアリマシテ、只今申
上ゲマシタ特殊會社、即チ帝國鑛業開發
株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云
フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實
シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居
ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

又ハ第一番目ノ出願人デアツタト云フヤウ
ナ場合ニ於キマシテハ、採掘權ノ設定ノ手
續ガ其ノ方ニ對シテ完了スルマデニ掛ル期
間ハ、是ハ個々ノ山ニ依ルノデアツテ、全
ク見當ガ付キマセヌガ、試掘權デ十分試掘
ガ行届イテ居リマシテ、圖面モ完備致シテ
居リマシテ、其ノ儘デ採掘權ヲ——詰リ地
域、地目ノ變更等ハ何モナクシテ、試掘權
ヲ其ノ儘採掘權ニ引直シタ場合ニ、鑛山監
督局ノ技術者其ノ他ノ職員ガ實地調査ヲヤ
ルト云フ程度ノモノデアリマスレバ、鑛山
監督局ノ職員ノ出張等ノ都合ニ依リマシテ、
出願後三月トカ或ハ二月トカ云フ所デ採掘
權ガ設定ニナル例モアルト思ヒマスガ、今
日ノ實情ニ於キマシテハ、先程御指摘ニナ
リマシタヤウニ、鑛山監督局ノ職員ハ殖ヤ
シマシタケレドモ、マダノ出願件數、其
ノ他カラ見ルト餘程不足シテ居リマスノ
デ、サウ云フ採掘權ノ出願ガアリマシテ
モ、半年カ一年掛ル場合ニキ保シ難イ、
然ラバ政府ガソンナニ手間ガ掛ツテ居ツ
テ、試掘權ノ存續期間ダケヲ打切ツテ見タ
所ガ駄目デハナイカト云フヤウナ御意見モ
アルカト存ジマスルガ、ソレハ兩方相俟ツテ
ノ方モ成ベク早ク調査ヲシテ採掘ニ轉顧ス
ル、鑛山監督局ノ方モ、サウ云フ出願ガアレ
バ出來ルダケ早イ實地調査ヲシテ試掘權ヲ
設定スル價值アリヤ否ヤヲ確カメル、斯ウ
云フ風ニ致シタイノデアリマシテ、只今申
上ゲマシタ特殊會社、即チ帝國鑛業開發
株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云
フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實
シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居
ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

○小金政府委員 サウシマスト、御説明ノ通り
又ハ第一番目ノ出願人デアツタト云フヤウ
ナ場合ニ於キマシテハ、採掘權ノ設定ノ手
續ガ其ノ方ニ對シテ完了スルマデニ掛ル期
間ハ、是ハ個々ノ山ニ依ルノデアツテ、全
ク見當ガ付キマセヌガ、試掘權デ十分試掘
ガ行届イテ居リマシテ、圖面モ完備致シテ
居リマシテ、其ノ儘デ採掘權ヲ——詰リ地
域、地目ノ變更等ハ何モナクシテ、試掘權
ヲ其ノ儘採掘權ニ引直シタ場合ニ、鑛山監
督局ノ技術者其ノ他ノ職員ガ實地調査ヲヤ
ルト云フ程度ノモノデアリマスレバ、鑛山
監督局ノ職員ノ出張等ノ都合ニ依リマシテ、
出願後三月トカ或ハ二月トカ云フ所デ採掘
權ガ設定ニナル例モアルト思ヒマスガ、今
日ノ實情ニ於キマシテハ、先程御指摘ニナ
リマシタヤウニ、鑛山監督局ノ職員ハ殖ヤ
シマシタケレドモ、マダノ出願件數、其
ノ他カラ見ルト餘程不足シテ居リマスノ
デ、サウ云フ採掘權ノ出願ガアリマシテ
モ、半年カ一年掛ル場合ニキ保シ難イ、
然ラバ政府ガソンナニ手間ガ掛ツテ居ツ
テ、試掘權ノ存續期間ダケヲ打切ツテ見タ
所ガ駄目デハナイカト云フヤウナ御意見モ
アルカト存ジマスルガ、ソレハ兩方相俟ツテ
ノ方モ成ベク早ク調査ヲシテ採掘ニ轉顧ス
ル、鑛山監督局ノ方モ、サウ云フ出願ガアレ
バ出來ルダケ早イ實地調査ヲシテ試掘權ヲ
設定スル價值アリヤ否ヤヲ確カメル、斯ウ
云フ風ニ致シタイノデアリマシテ、只今申
上ゲマシタ特殊會社、即チ帝國鑛業開發
株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云
フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實
シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居
ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

○山本委員 其ノ點ハ多少此ノ手續ガ遅レ
マシテモ宜イ譯デアリマスカ、ソレハ大變
安心シマシタ、次ニ伺ヒタイノハ、今マデ
ノ御調デ、試掘權者ガ四箇年間ニ十分探鑛
ヲ遂ゲテ採掘願ヲ出願ガアリマシテ
アリマセウカ、御調ガアツタラ伺ヒタイ、
マス

○小金政府委員 只今其ノ調ガゴザイマセ

○山本委員 此ノ際、先程ノ續キニナリマ

スカラ、何レ調ベタ上デ申上ゲマス

○山本委員 此ノ際、先程ノ續キニナリマ

スガ鑛業家ガ先願ノ權利ダケヲ保持シ、又

試掘權ノ儘デズツト長クヤツテ居ツタノ

ガ、時局ノ關係デ日本ノ鑛山ニナツタト

タガ、是ハ昔鐵道ノ測量ニ行ツタ者ガ發見

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買
ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ
ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、
先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致
シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ
ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、
株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云
フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ルト、採掘權ハ永久權デアリマスルカラ、

先づ鑛山監督局ガ出來ルダケ實地調査ヲ致

シマス、サウ致シマスト、採掘願ヲ御出シ

ニナリマシテ、其ノ方ガ試掘權者デアリ、

株式會社トカ、日本產金振興株式會社ト云

フヤウナモノノ技術陣營モ出來ルダケ充實

シテ、ソレヲ田舎ノ紳士ガ買ツテ持ツテ居

ツタノヲ、住友ガ買ツタノデアリマス、買

ハ御承知ノ通り私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツ

ツテ見タケレドモサウニモ始末ニイカナク
テ全ク弱ツテシマツテ、最後ニハ小倉老人
ナドハ腹ヲ切ル所マデ行ツタコトハ御承知
ノ通リデアリマス、ソレガコンナ事變ニナ
ツテ恐ロシヤウナコトニナリマシタケレ
ドモ、之ヲ聞イテ見ルト、先ヅ大體大正二
年ノヤウデアリマス、ソレデスカラ最初ニ
山ヲ發見シタ時カラ勘定シマスト、二十數
年ニナツテ居ル、其ノ間若シ之ヲ四年目ニ
探掘ヲヤラセテ居ツタナラバ、多クノモノ
ハ潰レテシマヒマス、一體探掘權ハ無期限
ダト言ヒナガラ、試掘權デ四年間稅金ヲ
取ラレ、探鑛ニウント經費ヲ取ラレ、借金
ノ利子ヲ取ラレ、サウシテ二十年モ持ツテ
居レバ持チ切レルモノデハナイ、今マデ掛
ケタ一万圓二万圓ノ金ト云フモノハ拋棄ス
ルヨリ外ナイ、又賣ラウトシテモ買フ者ガア
リマセヌ、アノ住友ノ鴻ノ舞金山モ其ノ頃
ハ殆ド貰フ者モナク、貰ツテモ始末ガ付キ
マセヌ、サウ云フモノハヤハリ先願權ノ儘
ナリ、或ハ試掘權ノ比較的簡易ナコトデヤ
ツテ居ルカラマア息ガ出來テ行クノカモ知
レマセヌガ、斯ウ云フ風ニ理窟のニヤラレ
ルコトニナルト、サウ云フ特典ハナクナリ
ハセヌカト思フ、札幌小樽ノ間ニ手稻金山ト
云フモノガ出來マシタガ、是ハ殆ド滑稽ナ
ヤウナ問題デアリマス、數十年ノ間彼處ヲ
通ツテ居ツタ實業家、鑛山家ガ夢ニモ思ハ
ナカツタ所ニア云フ莫大ナ金山ガ出來
テ、現在探掘ヲ致シテ居ルノデアリマス、
是モ私ノ知ツタ者ガ持ツテ居ツタノデス
ガ、十六年間デアリマス、是モ若シサウデ
ナカツタラ、其ノ人ハ潰レテシマツテ居ル、
是ハ個人ノ話デアリマスガ、斯ウ云フ點ヲ
考ヘマスト、ドウモソコノ所ニ私共ハ實情

云フヤウナコトガオ分リナツカラ、政府ノ
方カラ採掘ヲ御命ジニナルコトガ出来ルガ、ソレヲオヤリニナレバ宜イノニ、先ヅサウ
云フコトハ極メテ稀デアリマス、ソレカラ
モウ一ツ先程御述ニナツタ一年間云々ト云
フコトハ、是ハ少シ御取扱ガ出来ヌカモ知
レマセヌ、詰リ著手スル見込ノナイモノハ
取上げル、是ハ酷ニモ失スルシ、私ハ感服シ
ナイト思ツテ居リマシタガ、今申上ゲタ點
ハヤレヌコトハナイ、所ガアナタ方ノ方デ
手續ヲスル手配ガ整ツテオイデニナラヌカ
ラ、相當立派ナ山ガ各地ニアルノニ、ナゼ
採掘ヲシナイカト云ツテ呼バレテ談判ヲ食
ツタト云フモノハ稀デアリマス、ソレニ反
シテ採掘シタイト思ツテ東奔西走シテ居ル
ノニ採掘手順ニシテ吳レナインガ澤山アリ
マス、是ハ内容ガ悪イノカモ知レマセヌガ、
サウバカリデモアリマセヌ、大學ノ有名ナ博
士ガ行ツテ見タリ、商工省ノ役人ガ大シタ
ガ、コツチカラ御覧ニナツテ居ルノニ、ナゼ
テソレデドウシテモヤラヌ者ニハ、ソレハ怪
シカラヌト云フノデ第何條デスカ、ソレヲ
トガ出来ル、又ヤラナクテハナラヌ、サウシ
テソレデドウシテモ差支ナイト思フ、總テノ者
ニヤラウト云フカラ此ノ間ノヤウナ御答
辯ニナリマスケレドモ、ソレ等ハ取上ゲテ

眞面目ナ人ニ詐シタラ宜シイ、ソレガ合理的デハナイカト私ハ考ヘマス、ソレデ私ハ今一ツ伺ヒタインハ、此ノ改正ニ依リマスト、日本國內全部無論同一ノ取扱ニナツテ鑛ヲシタリトモ、道路ヲ付ケタリトモ、木ヲ伐ル以外ニハ寒中ハ山ノ仕事ト云フモノハ一日モ出來マセヌ、鑛業ニ關シテ採掘ナラ出來マスケレドモ、試掘ノ探鑛ハ事實出来ナイノデアリマス、斯ウ云フ所モ、四年デ以テ取上ガラレルト云フコトニナリマスト、事實ニ於テハ樺太、北海道等ハ二年ヨリ働く時ガナイ、之ニ付テハ何カ規定ヲ御設ケニナル御考デアリマスカドウカヲ伺ヒタイン○小金政府委員 試掘鑛區トシテ持ツテ居ル者ニ對シテ、之ヲ採掘鑛區ニセヨト云フ所謂轉願命令ト云フモノガ今ノ所法律デハ出來マセヌ、唯試掘權ガ滿了シテ第三十三條ノニニ依ツテ、モウ一遍試掘權ヲ許シテ吳レト出願シテ來タ場合、是ハ採掘ニモ適スルノダト云フコトヲ鑛山監督局が認定シタ場合ニ於テ、ソコデ試掘出願ヲ採掘出願ニシロト云フ命令ハ出來マスケレドモ、試掘權者ニ對シテ、アナタノ所ノ試掘鑛區ハ採掘鑛區ニ適スルカラ之ヲ採掘權ニ變ヘロト云フ命令ハ出來ナイノデアリマス、是ハ改メタイト思ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ試掘權者方色々ナツト御苦心ヲサレテ鑛區ヲ育テ上ゲル、其ノ一々ノ實例等ヲ御擧ゲニナリマシタガ、御尤デアリマシテ、此ノ點ノ探掘鑛區ニ對スル鑛區稅ト、試掘鑛區ニ對スル鑛區稅トノ開キ等モ考ヘテ見タノデアリマス、現在ノ法律ニ於キマンシテハ試掘權ハ二年デアリマスルカラ、二年ガ滿了スル

ト十日以内ニ出願致シマス、其ノ時出願手
料ト云フノガ慥カ五十圓掛リマス、ソレ
カラ又登録税ガ二百圓掛ル、斯ウ云フ風ニ
ナツテ居リマス、所ガ今度四年ニナレバ其
ノ手續ハ一切ナクナリマスカラ、ソコラノ
點ハ幾分輕減サレルト云フコトニナルノデ
アリマス、鑛區稅ハ倍ニナリマスケレドモ、
其ノ間ノ手數料其ノ他ノ負擔ガ輕クナルノ
ト、十日間ト云フ優先期間ガアリマシテモ、
之ヲ若シ失フヤウナコトガアレバ大變ナ又
損害ニナリマスカラ、其ノ危險モナクナル
ノデアリマス、是ハ御答デハアリマセヌガ、
此ノ間ノ事情ヲ簡單ニ御説明シタノデアリ
マス、ソレカラ又試掘權ノ期間ヲ四年間ニ
定メルノニ付テ、雪國等ノ實情ヲ考慮シタ
カト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ
十分考慮致シマシテ、實ハ何箇月間カ雪ニ
埋レテ居ル地方ヲ大體標準ニ致シマシテ四
年ト云フコトヲ定メタノデアリマス、隨テ
雪ノナイ所ハ割合ニ有利デアルト云フ風ニ
吾々ハ解シテ居リマス

御調べニナルノデスカラ、何デモ探掘權ヲ許ズト云フモノデハナイ、所ガ何デモ許ヌガ、ソレガ事實ニ於テ非常ニ困難デアリマス、ソレハ大キナ人ハ別デアリマスガ、中以下ノモノデアルト、一ツヤニツ持ツテ居ルヤウナ者ニハ中々ソンナ事ハ出來ハシマセヌ、ソンナラ廢ヌタラ宜イト言ヘバソレハソレマデデアリマスガ、勿論サウ云フモノデハアリマセヌ、サウ云フモノガ大事ナンデス、今マデハ大キナ財閥ノ人バカリニヤテシテ居ツタカラ、場合ニ依ルト發達シナイ點モアリマシタ、又場合ニ依ルト其ノ爲ニ良クナツタ鑛山モアリマス、私共ノ考デハサウ云フモノハ拋ツテ置イテモ金儲ケ主義デヤリマスカラヤレマスガ、サウデナイ地方ノ熱心ナ山ノ中ノ鑛業家ミタヤウナモノガ出来スト、新發見ハ出來マセヌ、其ノ點カラ行キマスト、一ツ二ツノ權利ヲ持ツテ居ル者ヲ保護スルヤウナ法律ニシナトイカヌ、是ハ分ルグラウト思ヒマス、ゾレカラ行キマスト里カラ十里モアル山ノ中ヘ詰ラナイ道ヲ馬ナリ徒步ナリデ行ツテ、ソレデ山小屋ヲ立テテ、有リモセヌ金デ探鑛スルノデアリマスカラ、サウ云フ者ガ中々北海道邊リデ、四年ナドデアナタ方ノ御氣ニ入ルヤウナ探鑛ノ説明ノ付クヤウナ調査ガ斷ジテ出來ルモノデハアリマセヌ、官廳ノ御手傳ハ今ハ餘程良クナリマシタガ、モツト完全ニナレバソレ出来ルカモ知レマセヌ、又ソレニ對スル獎勵金デモドシ、出シテ下サレバ又上ノ力デ進ミマスガ、大體今ノ程度デハ、サウ云

ニ願書ヲ出スマデニハ行キマセヌ、此ノ點トハ、是ハ私ハドウモ專變ニ關係シテ生産擴充、物動計畫ガ遲々トシテ進マヌ爲ニ、之ニ直面シテ色々、ア、デモナイ、斯ウデモナイト云フ御議論ノ結果、御決メニナツタノデハナイカト想像スルノデアリマス、ソコデ事變中デアリマスルト、又色々ナコトデ便宜ノ事モアラウ、政府モウント力ヲ入レテ下サルカラ或ハ出來ルカモ知レス、所ガ事變ガ濟ンデシマヒマスルト、今度ハ斯ウ云フ法律ヲ御適用ニナツテ居ツクタラ大變デスヨ、ソレハ鑛山ノ發見ナント云フモノハ逆モ進ミハシマセヌ、今マデハ試掘權ト云フモノガ無限デ稅金ガ半分デアツカラマダ宜シイ、ソレカラ權利ヲ得ナイ内ニ早イ間ニ掘ツテ歩イタモノダカラ是ハ今デモ宜シイノデセウ、ソレデ小サイ者ノ間ニ鑛業ガ盛シニ行ハレタノグラウト私ハ思フ、所ガ今ノヤウニ何十倍何百倍ニ賣レルヤウニナツテ來ルト——私ハ恐ラク石炭ナドモ、アベコベニ減產ヲスル時期ガ來ナイトモ限ラナイト思ツテ居リマス、石炭問題ハ今問題デアリマセヌカラ述ベマセヌガ唯最近マデノ石炭ヲ御覽ニナルト慌テ居リマス、又慌テタツテ石炭ナド出ルモノヂヤアリマセヌ、サウ云フ風ニ考ヘルト私ハ石炭以外ノ鑛物ト雖モ、餘リ妙ナコトヲスルト失敗スル人ガ出て來ヤセヌカト思ヒマスガ、是ハ國策デアルカラ宜シイ、唯其ノ後ニ此ノ法律ヲ適用サレテ、詰ラナイ小サニ鑛業家ヲ此處デ押ヘルト云フコトニナル

ト、是ハ改正ヲ要望スル時期ガ來ヤシナイ
カト想像サレル、仍テ伺ヒタノハ、是ハ
事變ニ對シテノ應急ノ改正デアリマスルカ、
我國ノ鑛業政策トシテ永久ニヤツテ然ルベ
キモノトノ御考デアリマスルカ、伺ヒタイ
ト思ヒマス

○小金政府委員 中小ノ鑛山ノ發見乃至ハ
開發ヲ最モ尊重致シタイト云フコトニ付テ
ハ、毫モ私共今マテト考ヲ變ヘテ居リマセ
ヌ、ソコデ此ノ立法ガ戰時非常時的ナモノ
デアルカト云フ御質問デアリマシタガ、是
ハ試掘權ノ本質ニ顧ミマシテ臨時立法デハ
ナイト吾々ハ考ヘテ居リマス

○山本委員 他ノ砂鑛法ノ改正ノ點ハマダ
宜イ點ガアルト思ヒマスガ、鑛業法ノ方ニ付
モニ三重重要ナ問題ガアリマスルガ、是ハ他
ノ質問者ニ讓リマシテ、私ハ此ノ一點ダケ
ヲ伺ツテ置キマスルガ、此ノ際最後ニ尙ホ
政府ノ御考ヘヲ練ツテ戴キタイコトハ、只
今段々述ベマシタコトデ御諒解ノコトと思
ヒマスルガ、大變是ハ良イ法律ノヤウニ一
見見エテ居リマシテ、實際ニ之ヲ用ヒルト
云フト、私ハ弊害ノ方ガ多イト思フ、又非常
ニ困ル者が多クテ、是ハ結構ダト言フ者ハ
少イ法律デアル、鑛業家ガ結構ダト言ハナ
クテモ、我國ノ鑛業開發ノ上ニ於テ結構ナ
ラバ是ハ忍バシテ宜シイ、私ノ考デハ雙方
宜クナイト考ヘテ居ル、是ハ意見ノ相違カ
モ知レナイガ、他ノ諸君カラモ段々同一
ノ質問ガアルト思ヒマスカラ、政府ハ之ニ
付テ極ク冷靜ニ公平ニ、實際ニ即シタ御考
ヲ以テ考慮セラレンコトヲ希望致シマス、
私ハ是デ終リマス

○櫻井委員長 一寸小金政府委員ニ申シマ
スガ、先程山本君ノ質問ノ中ニ、採掘出願

ヨシティゾレガ早ク許可ニナラナイデ困ツテ
居ル者ガ多イガ、政府ノ方カラ是ハ有望ダ
カラ採掘シロト云フコトヲ試掘權者ニ要求
セラレル場合ハナイ、寧ロ積極的ニ政府力
ヲ調査フシテ早ク採掘ヲシロト云フコトヲ
要求シタラドウカト云フ意味合ノ質問ニ對
シマシテハマダ政府ノ方カラ御答辯ガナカ
ツタヤウニ思ヒマスガ、是ハ非常ニ今ノ時
局ニ照シ合セテ大切ナコトト思ヒマスガ、
政府ノ方デハソレダケノ手ヲ殖ヤシテ、積
極的ニ試掘ヲ獎勵シテヤルト云フヤウナ準
備ハ出來兼ネルノデアリマスカ、ソコヲモ
ウ少シハツキリサシテ置イテ戴キタイ
○小金政府委員 現行法ノ建前デハ、試掘
權者ニ對シテハ採掘權ヲ設定シテ本格的ナ
鑛山ノ開發ヲヤレト云フ命令ハ出來ナイノ
デアリマス、唯其ノ期限ノ二年間ノ期間ガ
切レテカラ、改メテ又ソレガ採掘願デ來レ
バ宜イノデアリマスガ、其ノ儘試掘權デ願
出夕場合ニ於テ、試掘ノ願出ノアル間、即
チ試掘出願中ニ於テノミ之ヲ採掘願ニ變ヘ
ロト云フ命令ガ出來ルノデアリマシテ、現
行法デハ、如何ニ試掘鑛區ノ狀態ガ採掘ニ
適スルト認メマシテモ採掘權ニ直セト云フ
命令ハ出來ナイノデアリマス、然レバ政府
ノ方ニ於テ試掘地域ヲ技師其ノ他ヲ派遣シ
テ調べテ、採掘ニ適スルヤウナコトヲ發見
シタ場合モ、今ノ法律ノ建前デハ、二年ノ
試掘期間ガ満了スルマデハ何等手ヲ著ケル
コトガ出來ナイノデアリマス、是ハ不合理
デアリマスノデ、今回提案ニナリマシタ鑛
業法中改正法律案ノ中デ、今回ハサウ云フ
者ニ對シテモ採掘權ニ直セト云フ命令ガ出
來ルヤウニ致シタノデアリマス、唯今委員
長ノ御指摘ニナリマシタヤウニ、斯ウ云フ

ガ有リ餘ツテ居ルヤウナ時ニ、ドン／＼派遣シテ人ノ鑛區ヲ試掘シテヤル、或ハ探鑛シテヤル、ソレカラ又探掘ノ價値アリヤ否レバ非常ニ宜ノデアリマスガ、只今ノ見込デハ當分其處マデ手ガ廻ラヌノデ、探掘ノ願ガアツタ場合ニ於テ、其ノ探掘ニ適スルヤ否ヤラ實地調査スル方ニ追ハレテシマフノデハナイカト考ヘテ居リマス、然ラバ豫算其ノ他ヲ要求シテ、ドン／＼探掘ニ適スル試掘鑛區ヲ鑛山監督局ノ方、或ハ商工省ノ方デ指摘スルヤウナ處置ヲ執ソタラ……ト云フヤウナ御意見モ出ルカト存ジマスガ、只今ノ所鑛山技術者、地質方面ノ技術者ト云フヤウナ者ハ、日本ノ技術者ノ中デ一番不足シテ居ル技術者デアリマスノデ、其ノ邊ノ見當ガ中々付キ兼ネマス、ソコデマア今般御願シタヤウナ程度ノ豫算デ之ヲ十分活用シテ行クヨリ外ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

ハ仕方ガナイノデアリマスガ、相當ナモノ
デアツタナラバ、其ノ法規ノナイ今日ト雖
モ出來ルダケ相當ニヤツテ御居ニナリマ
ス、モット全般的ニハ無論出來マヌガ、
相當ノ重要鑛物ニ付テハモウ少シ經費ヲ御
取リニナツテ、ソレヲオヤリニナラヌトイ
カヌト思フノデス、ソレデモ向フノ怠慢カ、
資金ガ不足シテ色々ノ關係ニヤラヌモノ
ハ、是ハ私ハ相當ノ制裁ヲ加ヘテ宜シイト
思フノデス、サウデナイ、何モ知ラナイ力
ノナイ者ヲ加ヘテ一般的ニ御制裁ニナルノ
ハ少シ酷アハナイカト云フコトヲ申上ゲタ
ノデアリマス、附加ヘテ申上ダマス
○櫻井委員長 今ノ小金政府委員ノ御答デ
ハ、今度ノ改正法ニ依ツテ採掘ヲヤルヤウ
ニシロト云フ命令ガ出來ルヤウニシタト云
フ御答辯ダツタヤウニ思ヒマスガ、サウデ
ヤアリマセヌカ
○小金政府委員 第三十七條ノ規定ヲ改正
致シマシテ其ノ試掘鑛區ガ採掘ニ適スルト
云フ風ニ認メラレタ場合ニ於テハ、採掘權
ニ直セト云フ命令ガ出來ルヤウニナツテ居
リマス
○櫻井委員長 山本君ソレデ宜シウゴザイ
マスカ
○山本委員 宜シウゴザイマス
○櫻井委員長 次ニ匹田銳吉君
○匹田委員 私今日初メテ此ノ参考書類ヲ
見タノデアリマスガ、極ク簡單ニ御伺ヒシ
タイト思フ所ヲ二ツ三ツ申上げテ見タイト
思ヒマス、此ノ参考書類ノ中ニドウモ無イ
ガ、今マデ試掘權ヲ繼續的ニ二年毎ニ取替
ヘテ、其ノ儘ニナツテ未ダ採掘シナイモノ、

ニソレヲ願出ヲシテ受ケテ居ツテ、繼續シテ
モノニ付テ鑛種別ニ何年以上、四年以上ノ
モノハドレ位アルカ、或ハ十年以上ノモノ
ガドレ位アルカト云フヤウナ御調ガ出來テ
居リマスカ、其ノ數ガ若シ御調ガ出來ル毛
ノナラバ参考ノ爲ニ御伺シタインデアリマ
ス、詰リ此ノ法律ヲ改正シタ後ニ於テ、是
等ノモノハ淘汰サレシマフモノガ多イカ、
ドウデアルカト云フコトデアリマス、ソ
レカラモウ一ツ参考トシテ御調願ヒタイト
思フノハ、サウ云フ繼續的ニ試掘權ヲ得テ
著手ヲシナイト云フヤウナモノガ、事變前
ト事變後トドウ云フ工合ニ變ツテ居ルカ、
事變後ニハ著シクソレガ採掘ニ入ツテ居ル
ト云フヤウナ狀態デアルカドウカ、斯ウ云
フヤウナコトモ参考ノ爲ニ御調ガ出來ルモ
ノナラバ提出ヲ願ヒタイノデアリマス、又
今分ツテ居ルナラバ只今御答ヲ願ヒタイノ
デアリマス

シテ、是等ノ統計ヲ取ルコトニ依ツテ出
處分ノ方ガ非常ニ遅レマスノデ、只今ノ所
ハ事變後ノ狀況ニ付テ、事變前ト事變後ニ
分ケテ其ノ間ノ情勢ヲ察知スルニ足ルヤウ
ナ統計ハゴザイマセヌ

○四田委員 尚ホ大變ニ長ク試掘願ヲ繼續
シテ、詰リ五回モ十回モ繼續シテズ一ツト
ヤツテ居ルモノガアルノグラウト思フ、又
中ニハ一回位ノ繼續ニ止マルモノモアルダ
ラウト思フ、御調ハ何ゾ参考ニナルヤウナ
モノハアリマセヌカ

○小金政府委員 試掘權ハ實ハ二年ノ期間
ガ満了致シマスト、當該試掘權ガ全然消滅
シテシマフノデアリマシテ、新ニ別ノ試掘
權ヲ設定致シマスノデ、第三十三條ノ二ニ
依ル出願デアルカナカイカガ全然分ラナイノ
デアリマス、唯事務ノ取扱上大體ニ於キマシ
テ第三十三條ノ二ニ依ツテ出願スル者ガ三
分ノ二位ヲ占メルト云フ見當ガ付イテ居ル
ダケデアリマス、ソコデ法律ノ第三十三條
ノ二ヲ利用セラルル方モ増減區ヲシテ來ラ
レマスト、一々増減區ノ——減區ノ方ハ問
題ゴザイマセヌガ、増區シタ方ニ付テハ
再ビ地方長官其ノ他ト折衝シナクチヤナラ
ヌ、又公益上ノ部分ニ付テ地方長官ト折衝
シナケレバナラズ、又先願ガアレバ其ノ先
願ノ處分ヲ待タナクチヤイカヌト云フヤウ
ナコトデ、必ズシモキチン／＼ト二年ト
十日デ出願サレテ幾日位デ權利ガ改メラレ
テ試掘權ガ設定サレルト云フ風ニハ參ラナ
イノデアリマス、何年位ノモノガ一番長イ
カト云フコトハ一寸拾ヒ出スノニ非常ニ困
難デアリマスガ、十年位ノモノハ勿論アル
ト思ヒマス

ガ出来ルナラバ、此ノ委員會ノ開會中ニ御提出アランコトヲ願ツテ置キマス、ソレカラアルノダト思ヒマスカラ、此ノ機會ニ参考モノニ對シテハ、今マデドウ云フ取扱ヲナサツテ御居デニナルノデアルカ、例ヘバ木曾ノ御料林ノ中ニ金ガ澤山出ルト云フヤウナコトヲ言フ者モアルノデアリマス、サウ云フ出願ニ對シテ私ノ聞イテ居ル所ニ依ルト、何カ公益ニ害ガアルカラ許サストカ何トカ云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、居ルト云フヤウナコトハナイモノト考ヘルノセラルルヤウナコトハナイモノト考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ御料地内ニ於ケル試掘、採掘ト云フヤウナコトニ付テ大體ノ御取扱上ノ手續、御方針ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 出願地域ガ御料地トカ、或ハ官有地等ニ跨ツテ居ル場合ノ事務ノ處理方ニ付キマシテハ、農商務省當時ノ訓令ガアリマシテ、試掘若クハ採掘ノ出願御料地若クハ官有地ニ係ルトキハ主務官廳ニ協議ヲ遂グベシト云フ訓令ガ出テ居リマス、之ニ基イテ鑛山監督局ハ御料地トカ官有地ニ跨ル出願ガアツタ場合ニ於キマシテハ、官有地ヲ所管スル官廳或ハ又帝室林野局ノ支局ト云フヤウナ所ニ協議ヲ致スノデアリマス、ソヨデ其ノ帝室林野局又ハ其ノ支局

ニ於テ同意ヲ與ヘラレナカツタ場合ニ於キ
マシテハ、是ハ公益上許シ難イト云フ理由
ヲ附ケテ不許可ノ處分ヲ致シテ居リマス、
只今御説ニアリマシタヤウニ帝室林野竝ニ
官有地等ニ相當ナ鑛物ガアルコトモ決シテ
少クハナインデアリマス、サウ云フヤウナ
場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ鑛山監督
局ガ是等ノ所管官廳ト協議ヲ遂ゲマシテ、
成ベク許シテ戴ク、其ノ代リ跡始末ヲスル
トカ、見苦シイヤウナ山肌ヲ出サナイトカ、
色々ナ條件ヲ附ケテ許スヤウニ大體シテ居
ルノデアリマスガ、唯今御指摘ニナリマシ
タ御料地ノ中、製鍊業ノヤウナモノハ是ハ
ドウシテモ御許ガナインデアリマス
○匹田委員 今ノ關係官廳ニ協議シテ許否
ヲ決セラレルト云フコトデ、關係官廳ガ不
同意デアル場合ニハ、公益ニ背クモノトシ
テ却下セラレルト云フヤウナ御話ガアリマ
シタ、是ハ今日斯ウ云フ場合ニ鑛業法ノ改
正、砂鑛法ノ改正等モ行ツテ鑛業ノ發展ニ
力ヲ盡サナケレバナラヌ場合ニアリマスカ
ラ、政府トシテハ何トカサウ云フ方面ニ向
ツテ十分ナル御協議ヲ遂ゲラレ、出來得ル
限りソレ等ノ開發ニ資スルコトニ願ヒタイ
ノデアリマス、但シ唯單ニ權利ヲ得テソレ
ヲ賣リ歩イテ居ルヤウナ、所謂全ク不眞面
目ナ實力ノナイ者モ可ナリアルダラウト思
ヒマス、併シ相當ニ實力ガアツテ、且ツ眞
面目ニサウ云フ事業ヲヤラウト云フコトヲ
認メラレル以上ハ、今マデノヤウナ御方針
デナク、モウ少シ積極的ニソレ等ノ資源ヲ
例へバ鐵道ノ豫定線ナドガアツテ既ニ工事
御取扱ニナツタラ宜カラウ、是ハ希望トシ
テ申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一ツ交
通關係ニ付テ先刻モ質問ガアリマシタガ、

ニ著手シテ居ル所モアル、其ノ豫定線ヲ少シ變更スレバ、非常ナ礦業ノ開發ノ出來得ルヤウナ所モ見受ケル、其ノ豫定線及ビ線路ノ變更ガ出來ナイ爲ニ、山カラ掘ツタモノヲ停車場ノ所在地ニ持ツテ來ルコトガ出來ナイト云フヤウナ所モアルヤウニ見受ケル、斯ウ云フモノニ付テハ、礦業發展ノ目的ノ上カラ商工省トシテハ、鐵道省ト十分ナル連絡ヲ取ツテ、同ジ線路ヲ敷クナラバ、礦業開發ノ出來得ル便宜ナ所ニ線路ヲ敷クト云フヤウナコトニ御盡力ニナルベキモノデアラ、ウト思フ、併シ今マデハ全ク鐵道省ト是等ノ點ニ付テ連絡ガナイヤウニ思フ、是ハ如何ナモノデアリマスカ

○小山田委員 只今ノ澤田君ノ資料ノ要求ニ關聯シマシテ、現在日本產金振興株式會社及ビ社ノ融資致シテ居リマス鑛山ノ名前ト數ヲ御明示願ヒタイト思ヒマス

○小山田委員 只今小山田サンノ御要求ニナリマシタ點ハ、會社ノ營業內容個々ノ問題ニ瓦ルノミナラズ、相手方トノ關係モアリマスノデ、是ハ從來カラ差上げナイノミナラズ、役所ノ係以外ノ者モ見ナイト云フコトニ相成ツテ居リマスカラ、ソレハ一ツ御容赦願ヒタイト思ヒマス

○小山田委員 會社ノ營業ノ內容ヲ知リタイト云フノデハアリマセヌガ、鑛山ニ融資シテ居リマス内容ガ發表出來スト云フコトデアレバ、鑛山ノ數ト名前ダケデ宜シウゴザイマス

○櫻井委員長 明日ハ午後二時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時散會

昭和十五年一月二十七日印刷

昭和十五年一月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局